



チャレンジ！一歩前へ

郡山市立大槻小学校
学校だより No.19
令和4年 7月15日
文責：校長 酒井 健

◇コロナウイルス感染第7波！

「7月13日(水)感染者数 全国 94,493人 福島県 507人 郡山市 105人」

ちなみに・・・1週間前はどのような状況であったかということ・・・

「7月 6日(水)感染者数 全国 45,821人 福島県 223人 郡山市 23人」

ちなみに・・・2週間前はどのような状況であったかということ・・・

「6月29日(水)感染者数 全国 23,346人 福島県 80人 郡山市 18人」

ここ2週間の感染者数を見ても、急激な増加となっていることが分かります。

昨日の新聞に掲載されていた数字に驚いてしまいました。つい先日までは、感染収束かと思われていましたが、ここに来て第7波がきてしまったという感があります。感染の広がりやすさが1.3倍といわれているBA・5の感染が増加しているという話もあります。郡山市においても、クラスターの発生、教育現場での学級閉鎖などが報告されています。

学校は、間もなく、子どもたちが楽しみにしている夏休みに入ります。コロナ禍の夏休みは、3年目となりますが、ここで気を緩めることなく、今後におきましても感染対策を徹底していきましょう。

様々な制限がある中での夏休みとなってしまいますが、そのような中でも、子どもたちが、たくさんの思い出を胸に刻むことができることを願っております。



◇教育相談、ご協力ありがとうございました。

先週7月5日から始まりました「教育相談」が、昨日7月14日で終わりました。保護者の皆様には、何かとご多用の中、お時間を作っていただき、本当にありがとうございました。

目の前のお子様の教育には、学校とご家庭とがチームとなって取り組んでいくことが重要であると考えております。この「教育相談」を通して、学校での様子をお伝えできたこと、また、ご家庭での様子をお聞かせいただいたことは、とても意義のあるものであったと思います。皆様のご協力に感謝いたします。

今後におきましても、学校、学級へのご要望、ご質問等がございましたら、いつでも、気軽にお知らせください。子どもたちの健康な育成に向けて、一緒に取り組んでいきましょう。



校長のひとりごと

先週の7日(木)～8日(金)に、東北連小校長会という会議があり、岩手県盛岡市に行ってきました。

実は、私は、岩手大学の出身で、盛岡市には4年間、住んでおりました。今から35年以上前の話です。会議には、まじめに、しっかりと参加していましたが、1日目の夜、本当に懐かしい私にとってはサプライズとも言える出来事がありました。それは、夕方、一本の電話から始まりました。なんと、一つ上の、教育学部の先輩（サークルのオーケストラ部の先輩でもあります）からの連絡があり、「盛岡にきているのか、ホテルに行くから会おう」というものでした。その先輩とは36年ぶりの再会！！現在は、盛岡市教育委員会に勤務されていました。先輩の運転で、岩手大学に行き、教育学部や中央食堂(学食)を見て回ったり、自分が住んでいたアパート周辺、ボートに乗って遊んだ高松の池、わいわい食事をしていた盛岡食堂、オーケストラの演奏会の会場であった岩手県民会館などに行ったりしました。車の中では、「先輩、こんなことありましたね」「ここ、ここでは、わいわい騒ぎましたよね」・・・等々、学生時代にタイムスリップして盛り上がりました。盛岡市は、35年前とは道路や建物が全く変わっていました。でも、北上川の豊かな流れと、雄大な岩手山、先輩とのはずむ会話は35年前そのままでした。



